TOSHIBA
Leading Innovation

保管用

東芝照明器具
ネオスリムV　デジタル制御照明［デジルクス］ Digilx

取扱説明書

＜商品概要＞
■ネオスリム蛍光ランプ
「ネオスリムZプライド」ランプ搭載
■リモコン送信器同梱
■インバータ（点灯方式）
デジルクス〈100%～約1%調光可能〉
■プルスイッチレス機能
■本体取付:ワンタッチ2方式
■セード取付:ターン方式
■ムシールドＰＬＵＳ

器具形名	ＦＶＨ１６７００ＴＲＵＥＮ ＦＶＨ１６７００ＴＲＵＥＬ
本体形名	ＦＶＨ１０Ｖ０１ＷＲＭ（１０６Ｗ形）

お客様へ

●このたびは東芝照明器具をお買い上げ頂きまして
ありがとうございます。
●この商品を、安全に正しくお使いいただくために、
この取扱説明書をよくお読みください。
●本書は必ず保管してください。

工事店様へ

●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・3
器具の取付けかた ・・・・・・・・・・・・・4～5
セード・器具のはずしかた、ランプの交換方法 ・・・6
器具の使いかた・・・・・・・・・・・・・・7～11
使用上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・12
故障ではありません、故障かな？と思ったら ・・・13
ランプ寿命について、お手入れについて ・・・14
お客様メモ ・・・・・・・・・・・・・・・・・15

(0031956)B

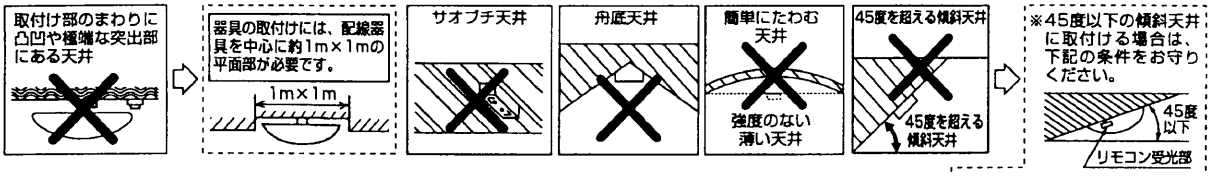
＜生産完了 2010年12月03日＞

安全上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●次のような場所には取付けないでください。(この器具は天井取付専用です。)

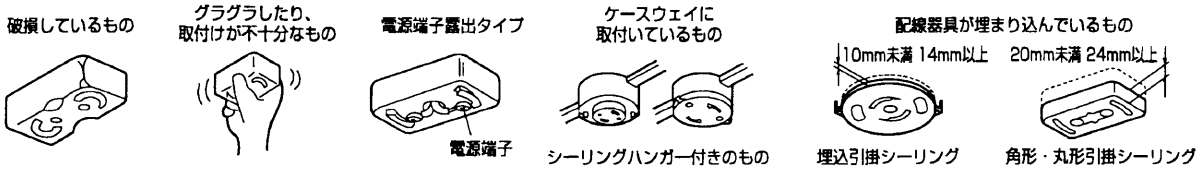
取付禁止	指定以外の場所には器具が取付かない場合や、取付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。



●傾斜方向の下側にリモコン受光部側がくるように取付けてください。
●引掛シーリングボディに器具の荷重が加わらないように本体を**木ねじ**で必ず固定してください。

●次のような配線器具(引掛シーリングボディ)には取付けないでください。

取付禁止	火災・感電・落下してけがの原因となります。 次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。 (※素人工事は法律で禁じられております。)



※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取付けてください。

●器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

改 造	火災・感電・落下してけがの原因となります。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

可燃物	火災の原因となります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。

湿気禁止	この器具は非防水です。 火災・感電の原因となります。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。

接触禁止	高温になっています。 やけどの原因となります。

●温度の高い場所では使用しないでください。

高温禁止	暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。この器具は5~35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

●調光器(当社商品名コントルクスなど)が取付いた配線で使用しないでください。

調光器配線組合せ禁止	この器具は、調光器が取付いた配線での使用はできません。 器具や調光器からうなり音が発生したり、正常に点灯しない原因となります。 調光器の取はずしを電気工事店に依頼してください。 (※素人工事は法律で禁じられております。)

●交流100V以外の電圧で使用しないでください。定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
●天井の材質や構造によっては天井面が変色する場合があります。

●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

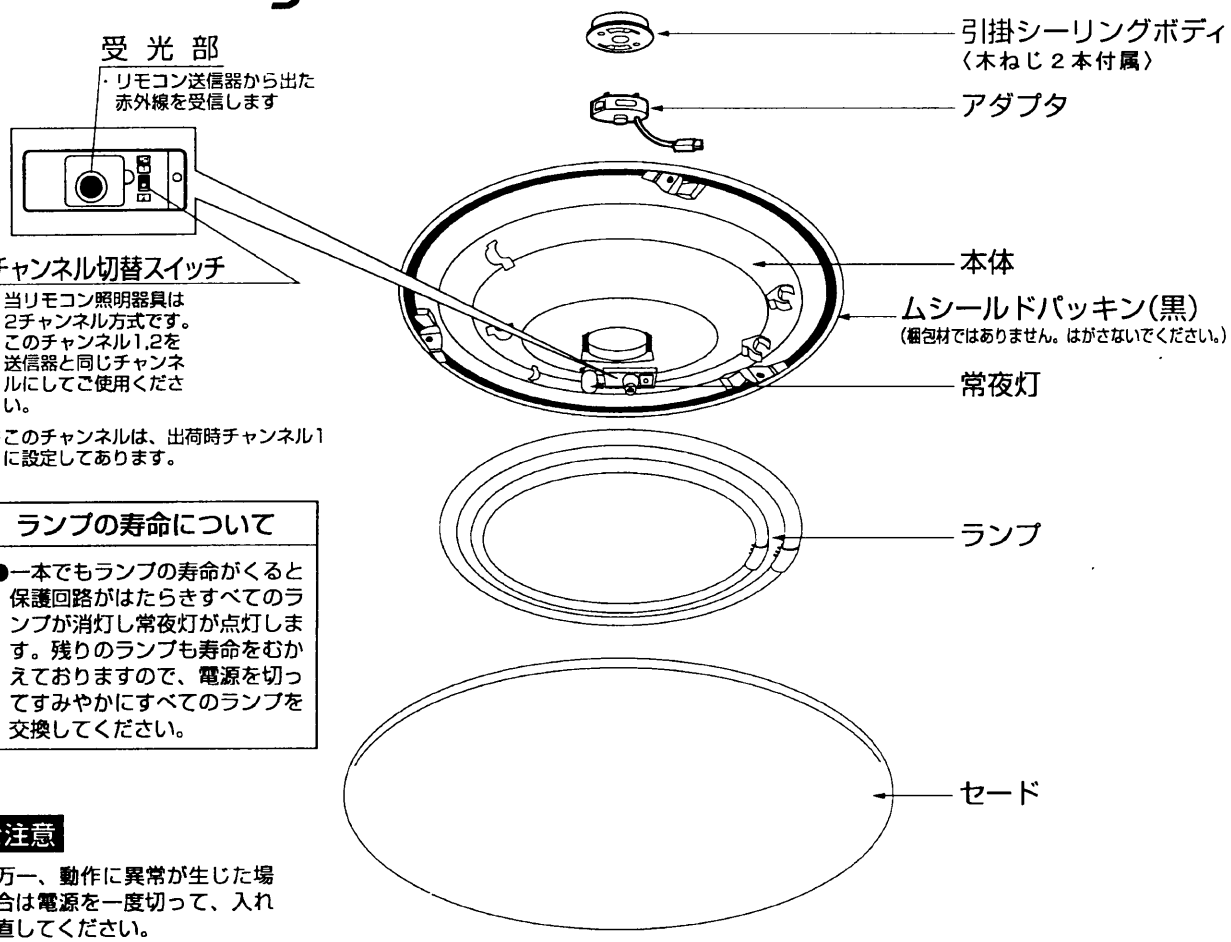
(0031956)B

<生産完了 2010年12月03日>
FVH16700TRUEL (2 / 16)

各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、
お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

ネオスリムV Digilx



ランプの寿命について

●一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し常夜灯が点灯します。残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかにすべてのランプを交換してください。

ご注意

●万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し取り付け直してください。)

器具により枠に天然素材、手作り品を使用している製品があります。
天然素材、手作り品のため、カタログと色が多少異なる場合や形状にバラツキが発生する場合があります。

仕様

Digilx　デジタルで光出力を制御。新タイプのインバータ「Digilx（デジルクス）」

〈主な特長〉

特長１〉 明るさ100%～約1%の範囲で調光可能なネオスリム蛍光ランプ搭載器具
特長２〉 予約した時刻の30分前から徐々に明るくなる「おめざめタイマー」機能付き
特長３〉 滑らかに点灯・消灯する「フェード点灯・フェード消灯」機能付き
特長４〉 おこのみの明るさを記憶する「メモリ」機能付き（調光状態を記憶可能）

器　具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適　合　ラ　ン　プ
106W形	AC100V	50/60Hz共用	83W	0.5W以下	FHC34、FHC41 常夜灯100V5W

⚠注意	LED常夜灯は、ご使用できません。 照明器具やLED常夜灯が故障するおそれがあります。

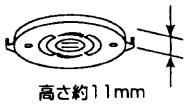
(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞

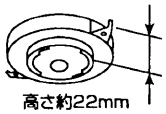
器具の取付けかた　※取付けの際は必ず電源を切ってください。

① 天井の配線器具を確認する

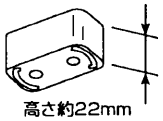
器具を取付ける天井に図のような引掛シーリングボディが取付けられているか確認してください。
・取付可能な配線器具（JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに取付けできます。）



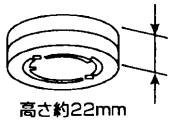
埋込引掛シーリング



埋込高荷重・耐熱形
引掛シーリング



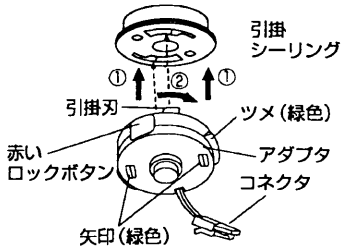
角形引掛シーリング



丸形引掛シーリング

高荷重・耐熱形
引掛シーリング

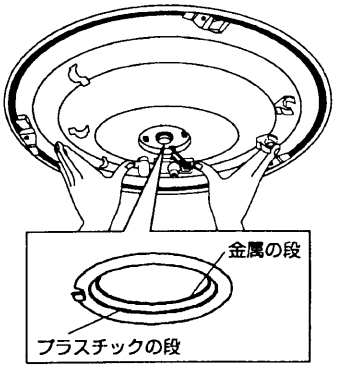
② アダプタを取付ける



① 引掛シーリングへ2本の引掛刃を挿入します。
② “カチッ” と音がするまで右に回します。

⚠注意	赤いロックボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。 アダプタの取付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

③ 本体を取付ける　※本体裏面のねじ先端部に触れないように注意してください。強く触れるとけがの原因となります。



※安全のためランプをはずしてから、本体を取付けてください。
ランプのはずしかたは、P6「ランプの交換方法」を参照してください。

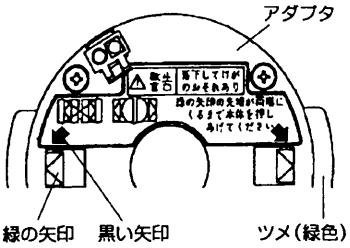
① 本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて
“カチッ” と音がするまで本体をまっすぐに押し上げます。
※コネクタをはさみ込まないように注意してください。

埋込引掛シーリングの場合

1段階押し上げてアダプタのツメ（緑色）を本体の金属の段に取付けてください。

角形・丸形引掛シーリングの場合

2段階押し上げてアダプタのツメ（緑色）を本体のプラスチックの段に取付けてください。



② 本体固定時、緑の矢印の先端が両端にくるまで押し上げてください。

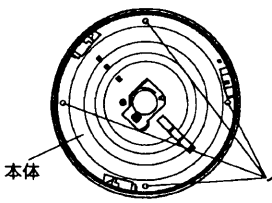
⚠警告	黒い矢印の先端に緑の矢印の先端がくるまで本体を押し上げてください。 本体の取付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

※器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
（天井面に器具を取付けるための緩衝材です。）

本体を木ねじで固定する場合

本体が安定しない場合や傾斜天井（45度以下）に取付ける場合は、**木ねじ**で固定してください。**木ねじ**で固定する場合は4箇所（4本）とも固定してください。

※本体取付用の木ねじは付属しておりません。

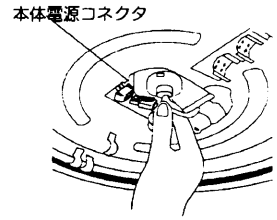


本体ノックアウト（4箇所）を本体裏面からドライバー等で打ち抜きます。

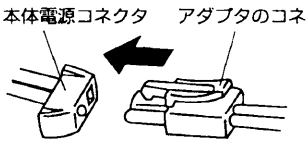
(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞
FVH16700TRUEL (4 / 16)

④ コネクタを接続する

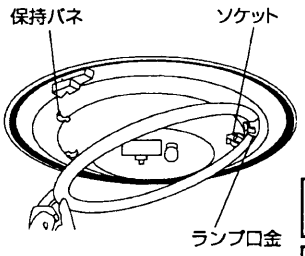


アダプタのコネクタを本体電源コネクタに差し込みます。



⚠注意	抜けないことを確認してください。

⑤ ランプを取付ける



保持バネは内側に押し込みながら取付けてください。

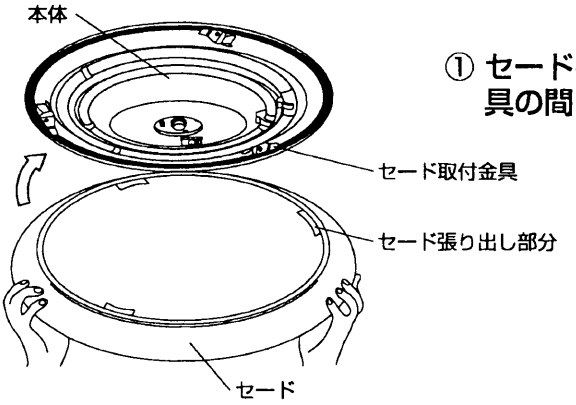
・本体に大きいランプから順に取付けます。
① ソケット
② 保持バネ
の順で取付けます。

※出荷時にランプは本体に取付けています。

⚠警告	適合ランプ以外は使用しないでください。感電または火災の原因となります。
⚠注意	ランプの口金は、無理に回さないでください。破損の原因となることがあります。
⚠注意	ランプをソケットに確実に取付けてください。取付けが不十分ですと、接触不良により火災の原因となります。 ランプとソケットが接続されていないと、常夜灯点灯となりランプが正常点灯しません。

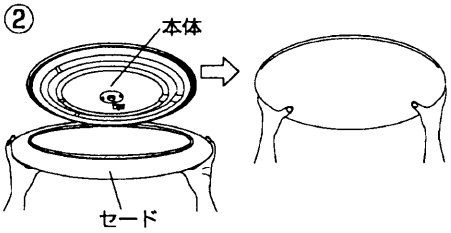
⑥ セードを取付ける

①



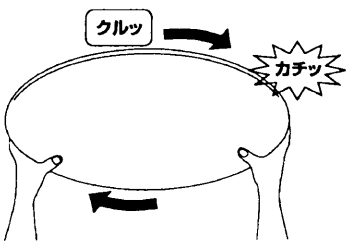
① セードの張り出し部分をセード取付金具とセード取付金具の間にセットしてください。

②



② セードを持ち上げます。

③

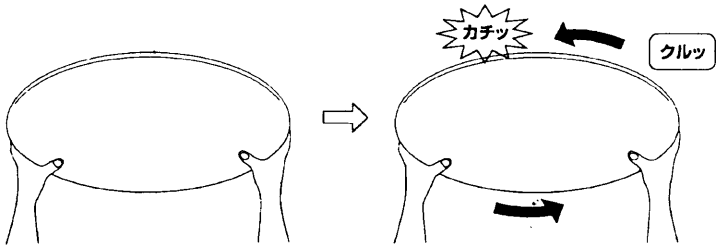


③ “カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。
セードを軽く引っぱってはずれないことを確認してください。

⚠警告	セードを本体に確実に取付けてください。 全てのセード取付金具にセードが取付いたことを確認してください。 取付けが不十分ですと、落下の原因となることがあります。 ※本体外周のスポンジ(黒)は、梱包材ではありません。はがさないでください。(虫を入りにくくするパッキンです。)

(0031956)B

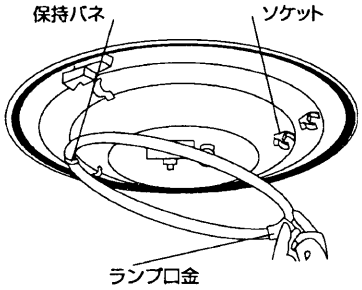
セードのはずしかた

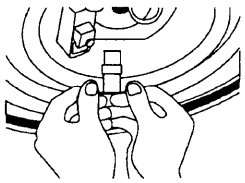


“カチッ”と音がするまで、セードを左に回してください。

ランプの交換方法　※ランプ交換の際は必ず電源を切ってください。

●ランプ口金付近のガラス管が少し黒くなったり、光が弱くなりましたら早めに交換してください。
ランプの寿命がくると器具の保護回路がはたらき、すべての蛍光ランプが消灯し常夜灯が点灯します。
ランプ交換の際は、適合ランプ（東芝蛍光ランプ・ネオスリムZプライド）をご指定ください。





ランプの内側に、両手を添えて引き抜くとはずれます。

保持バネ先端を内側に押し込みながらはずしてください。

小さいランプからはずしてください。
① ソケット
② 保持バネ
の順で取はずします。

器具のはずしかた

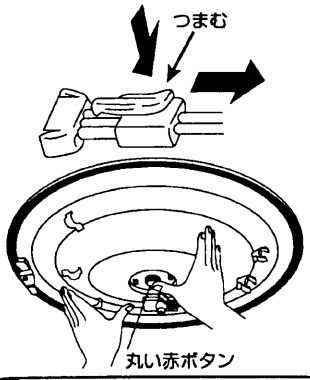
① セードをはずす

上記「セードのはずしかた 」を参照してください。

② ランプをはずす

上記「ランプの交換方法 」を参照してください。

③ 本体をはずす

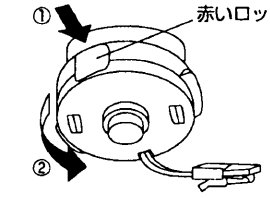


① アダプタのコネクタを電源コネクタからはずします。
※コネクタをつまみながら引き抜いてください。

② 両手で本体を押しあげながら中央にある電源アダプタの丸い赤ボタンを押してください。

⚠注意	本体は必ず両手でささえながら、はずしてください。本体を両手でささえないと、落下してけがの原因となります。

④ アダプタをはずす



赤いロックボタンを押したまま左に回してください。

赤いロックボタンを①矢印方向に押したまま、②左方向に回してください。

(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞

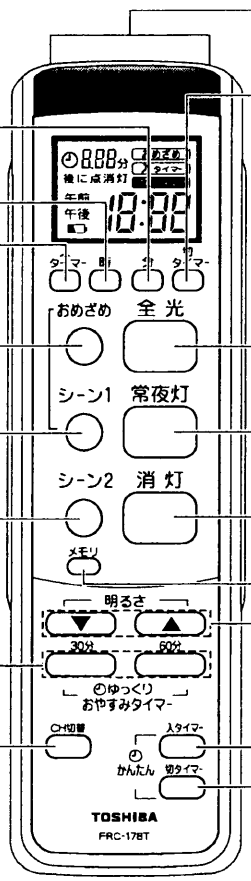
器具の使いかた

器具の使いかた リモコンを使って操作する

■各部の名前とはたらき

リモコン送信器　FRC−178T

※保護シートをはがしてご使用ください。
そのままご使用になりますと、リモコンの効きにくい場合があります。



※リモコン本体の前面には保護シート(透明)が貼ってあります。

■液晶パネル表示

※説明のため、全部を表示しております。実際にはこの表示にはなりません。

●CH表示／タイマー表示
タイマー設定時は残り時間を表示します。

●おめざめ予約表示
おめざめタイマーを予約した場合に表示します。

●入タイマー予約表示
入タイマーを予約した場合に表示します。

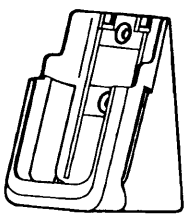
●切タイマー予約表示
切タイマーを予約した場合に表示します。

●時計表示
現在時刻を表示します。
予約内容を確認した場合は、予約時刻を表示します。

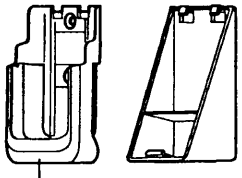
●電池残量表示
電池の残りが少なくなると表示します。
マークが表示されたら、電池を2本とも新しいものに交換してください。
※リモコン機能が正しく動作しません。

■リモコン送信器付属品

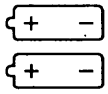
卓上ホルダー(分離型)



分離して壁ホルダーとしてもご使用いただけます。



単4乾電池(2本)



※動作確認用です。

取付用木ねじ(2本)

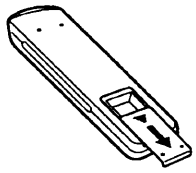
(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞
FVH16700TRUEL (7 / 16)

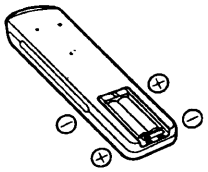
器具の使いかた リモコンを準備する

① 乾電池を入れる

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



②単4乾電池を表示にあわせて極性+−をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。



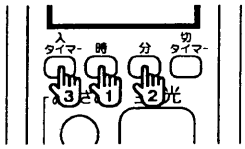
ご 注 意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池をはずしておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

※リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約9ヶ月が目安です。

② 時計を合わせる

注意）時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に動作しません。



＜電池投入時＞

※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

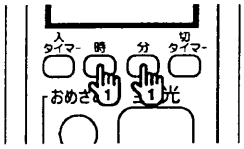
①《時》ボタンで時刻を合わせます。

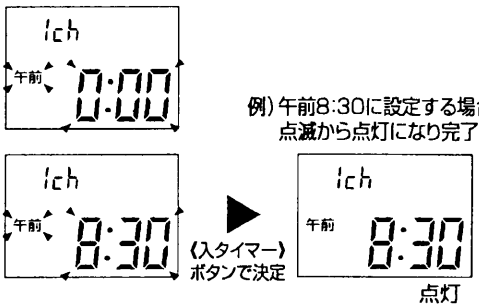
《時》ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

②《分》ボタンで分を合わせます。

《分》ボタンを押すごとに1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

③《入タイマー》ボタンを押して決定します。





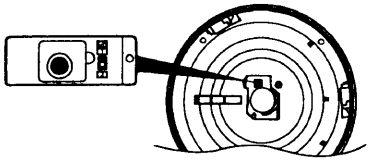
例）午前8:30に設定する場合
点滅から点灯になり完了。

＜時刻を変更するとき＞

①《時》＋《分》ボタンを同時に3秒間押します
②「電池投入時」の①〜③と同じ手順で時刻を登録します。

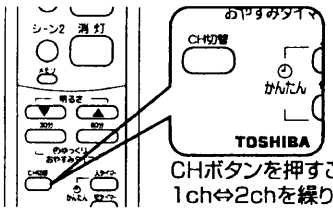
③ チャンネルを合わせる

①照明器具のセードをはずします。
例:1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。



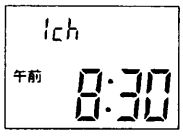
※ 照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

②リモコン送信器のチャンネルを1に合わせます。



CHボタンを押すごとに
1ch⇔2chを繰り返します。

液晶画面に「1ch」が表示

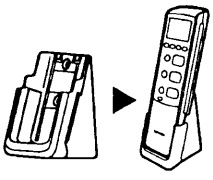


※出荷時は1chに設定してあります。

器具の使いかた リモコンホルダーのご使用方法

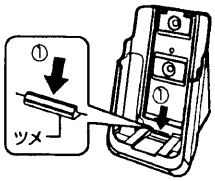
＜卓上ホルダー＞

卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。

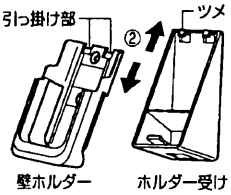


卓上ホルダーは分離して、壁ホルダーとしてもご使用いただけます。

①卓上ホルダー下部にあるツメを↓の方向に押します。

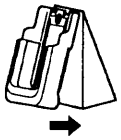


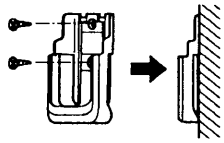
②矢印の方向にスライドさせると分離できます。



〈卓上ホルダーとしてご使用になる場合〉（組み立て方）

壁ホルダーの「引っ掛け部」にホルダー受けの「ツメ」を合わせて➡の方向に押すと卓上ホルダーになります。





ご 注 意

壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合はホルダーから送信器をはずして器具に向けてください。壁掛けホルダーにいれたままで、リモコンがききにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞

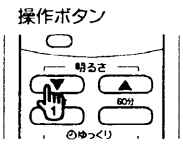
器具の使いかた　おこのみの明るさをシーンボタンにメモリする（調光状態を記憶する）

シーン1にメモリする

よく使う明るさ（調光）をメモリすることができます。

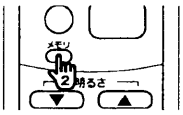
※工場出荷時は、シーン1:約10%、シーン2:約70%に設定してあります。

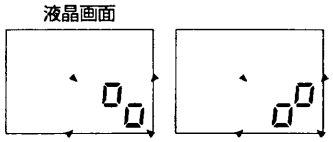
1、《明るさ▼▲》ボタンでおこのみの明るさに調光します。



2、《メモリ》ボタンを押します。

画面がメモリ待機となります。

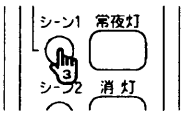


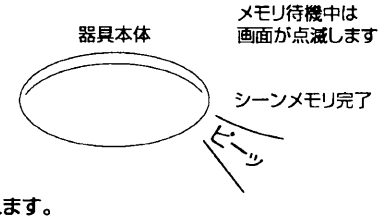


3、《シーン1》ボタンを押します。

ピーッとなって器具本体にメモリされます。

シーン2にメモリする場合は、《シーン2》のボタンを押します。





※《シーン》ボタンを押すときは、照明器具に向けて操作してください。
※《メモリ》を押したあとに、《シーン》以外のボタンを押すとシーンメモリはキャンセルされます。
※シーンにメモリした明るさを変更する場合は再度1～3の手順を繰り返してください。（上書きされます）

器具の使いかた　入タイマー／切タイマー機能を使う

入タイマーを予約する

タイマー機能を使って照明器具を「調光点灯」させることができます。

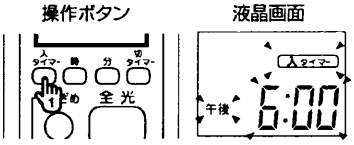
※時計を正しい時刻に設定しておいてください。（「時計の合わせ方」参照）

例）午後7:30に入タイマーを予約する場合。

1、《入タイマー》ボタンを押します。

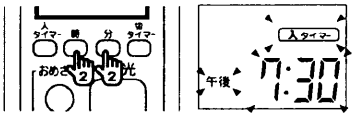
画面が点滅します。

※工場出荷時は午後6:00に設定してあります。



2、《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。

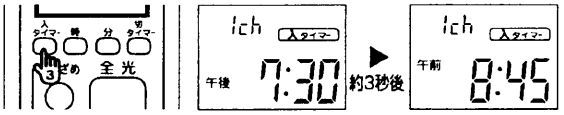
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3、《入タイマー》ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり 入タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。

（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



※いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「調光点灯」を繰り返します。
（予約の解除方法はP10「予約を解除する」参照ください）

切タイマーを予約する

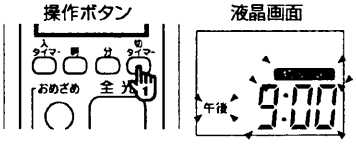
タイマー機能を使って照明器具を「消灯」させることができます。

例）午後11:30に切タイマーを予約する場合。

1、《切タイマー》ボタンを押します。

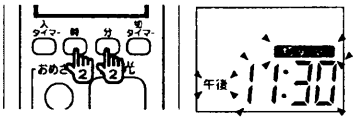
画面が点滅します。

※工場出荷時は午後9:00に設定してあります。



2、《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。

《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3、《切タイマー》ボタン を押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり 切タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。

（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）

※いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「消灯」を繰り返します。
（予約の解除方法はP10「予約を解除する」参照ください）

(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞
FVH16700TRUEL (9 / 16)

器具の使いかた　おめざめタイマー機能を使う

予約した時刻の30分前からゆっくり点灯させることができます。

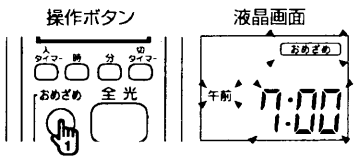
例）午前7:30におめざめタイマーを予約する場合。

操作ボタン　液晶画面

1、《おめざめ》ボタンを押します。

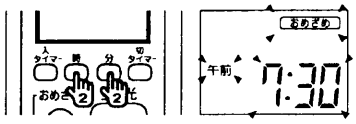
画面が点滅します。

※工場出荷時は午前7:00に設定してあります。



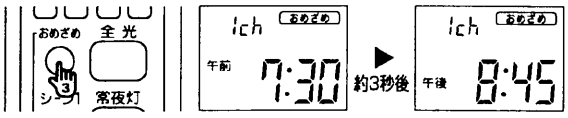
2、《時》、《分》ボタンを押します。

《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

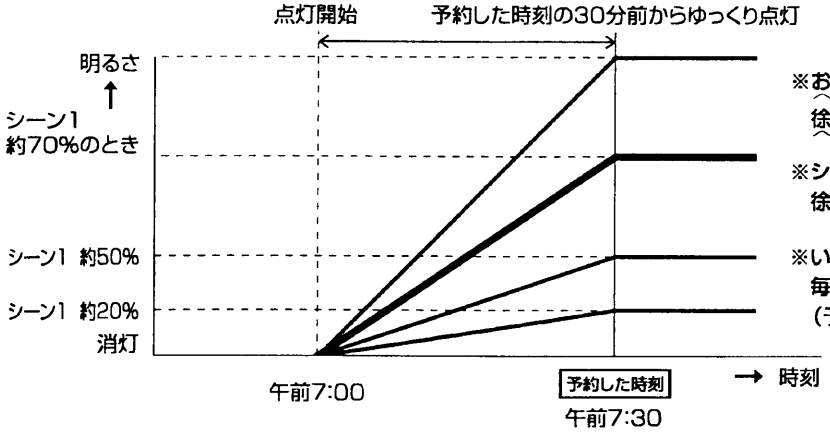


3、《おめざめ》ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり おめざめ が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



現在時刻の画面



※おめざめタイマーは、シーン1でメモリした明るさまで徐々に明るくなります。

※シーン1に調光下限約1%をメモリした場合は、徐々に明るくなりません。

※いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「おめざめ」点灯を繰り返します。
（予約の解除方法はP10「予約を解除する」参照ください）

予約内容を確認する

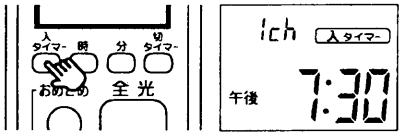
入りタイマー、切りタイマー、おめざめタイマーの場合

例）「入タイマー」の予約時刻を確認する。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

1、《入タイマー》ボタンを1回押します。

現在の予約時刻を表示します。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



※切タイマー、おめざめタイマーの予約時刻の確認も 切タイマー おめざめ 表示されている状態で《切タイマー》、《おめざめ》ボタンを1回押します。

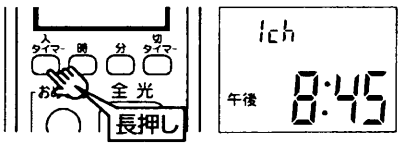
予約を解除する

例）「入タイマー」の予約を解除する場合。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

1、《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。

入タイマー 表示が消え現在時刻表示に戻ります。



※切タイマー、おめざめタイマーの予約を解除する場合も 切タイマー おめざめ 表示されている状態で《切タイマー》、《おめざめ》ボタンを長押しします。

予約中の設定時刻を変更する

例）「入タイマー」の予約時刻を変更する場合。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

1、《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。

2、「入タイマーを予約する」1～3の操作をします。

※一度解除しないと予約時刻の変更はできません。
※切タイマー、おめざめタイマーの予約時刻を変更する場合も、一度予約を解除してください。

(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞
FVH16700TRUEL (10 / 16)

器具の使いかた ワンボタンかんたんタイマーを使う

ゆっくりおやすみタイマー

●ワンボタン操作で30分後、または60分後に蛍光灯の自動消灯ができます。
また、残り10分間は明るさがゆっくり減少します。

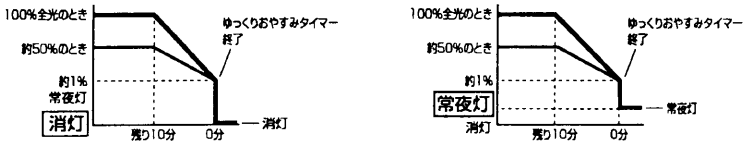
「30分」ボタンを押すと器具がピピッと2回鳴ります。

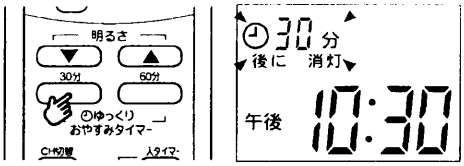
「60分」ボタンを押すと器具がピピピッと3回鳴ります。

●チャンネルの設定で、ゆっくりおやすみタイマー後の照明器具の状態が選べます。

・CH1の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後「消灯」します。

・CH2の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後「常夜灯」が点灯します。





ゆっくりおやすみタイマー作動中は液晶のタイムカウントが点滅します。
※CH1とCH2でそれぞれタイムカウント表示ができます。
チャンネルを切替えて表示させた場合は、約3秒後にタイムカウント表示に戻ります。

※「全光」「段調光」「常夜灯」「消灯」のいづれかを操作すると解除されます。
※ 約1%の調光点灯では蛍光灯の明るさは減少しません。
※ 常夜灯が点灯している状態で、ゆっくりおやすみタイマーのボタンを押した場合は、CH1、CH2とも30分後(または60分後)に消灯します。(明るさはゆっくり減少しません。)

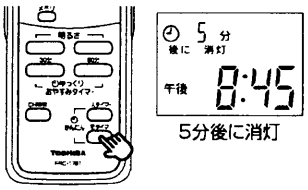
ポイント 出荷時は本体側、リモコンともにCH1に設定されています。設定を変更する場合は、本体とリモコンの両方のチャンネルを変更してください。

かんたん切タイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「消灯」します。

①〈かんたん切タイマー〉ボタンを押します。

オフタイマーの時間は5分、10分、15分、30分、60分から選べます。



5分後に消灯

5→10→15→30→60分後に消灯
↑—— ch表示(キャンセル) ——┘

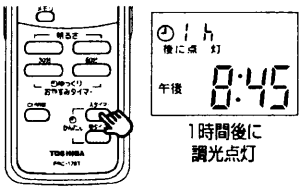
→:ボタン操作

かんたん入タイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「調光点灯」します。

①〈かんたん入タイマー〉ボタンを押します。

かんたん入タイマーの時間は1、2、3、6、9、12時間から選べます。



1時間後に調光点灯

1→2→3→6→9→12時間後に点灯
↑—— ch表示(キャンセル) ——┘

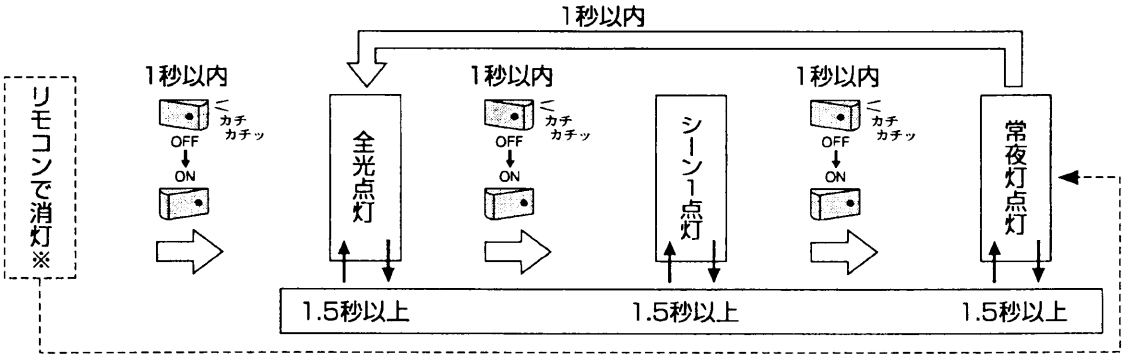
→:ボタン操作

※〈オフタイマー〉と〈かんたん入タイマー〉は併用できません。

※ゆっくりおやすみタイマー動作中は、〈オフタイマー〉と〈かんたん入タイマー〉は操作できません。
操作する場合は、ゆっくりおやすみタイマーを解除してください。

器具の使いかた 壁スイッチで操作する

・プルスイッチレス機能・・・ この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電流遮断を感知すると、次の点灯状態へ切替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。



※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びONにすると常夜灯点灯になります。(---→)

・バックアップ機能・・・・ 壁スイッチをいったんOFFして、1.5秒以上後に再度壁スイッチをONするとOFFする前の照明器具の点灯状態で点灯します。
蛍光灯および常夜灯の点灯状態(調光状態)をバックアップします。

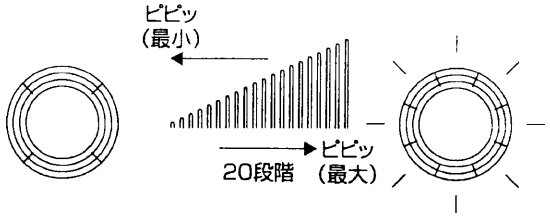
(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞

器具の使いかた リモコンを使っての明るさの調整について

リモコン送信器の《明るさ▼▲》ボタンで通常ランプおよび常夜灯の明るさを変えることができます。

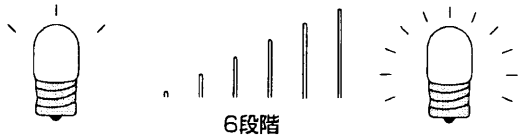
蛍光ランプ



※消灯から《明るさ▲》ボタンを押した場合、内側のランプのみ点灯します。明るさを上げていくと2本のランプが点灯します。明るさが最大の場合はピピッと鳴ります。

※《明るさ▼》ボタンを押して明るさを下げていくと2本のランプ点灯から内側のランプのみの点灯となります。明るさが最小の場合はピピッと鳴ります。

常夜灯



タイマー予約における使用上のご注意

●壁スイッチは必ずONにしてください。

●リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。

●卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。
※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。

●器具と送信器の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。

●天井の高さにより受信範囲が異なります。2.4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。
これを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。

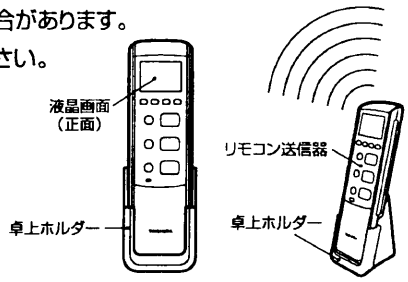
●卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約3mが受信範囲になります。

●卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)

●卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。

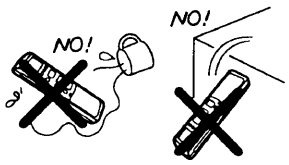
●直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。

●ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。



リモコン使用上のご注意

●付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。

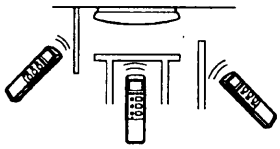


●リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。

●リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて0.5W以下の電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。

●リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。

●リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。



●天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。

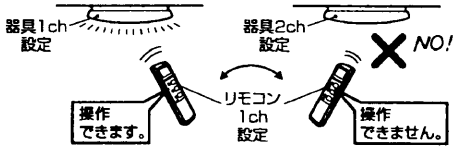
●リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。

●この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に作動しないときがあります。

●点灯直後の全光時や調光時、リモコン操作で点灯状態を切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。

●リモコンで消灯した場合、停電が発生した際にプルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。

●1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
2台の照明器具を1つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。



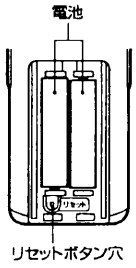
(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞
FVH16700TRUEL (12 / 16)

故障ではありません

●冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、"ピシ・ピシ"、"ポツ・ポツ"という摩擦音を生じることがあります。
●ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
●器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
●電源の停電などで明るさが切替わったり、切替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチで消灯してください。
●リモコン送信器の「消灯』ボタンを押すと、照明器具が約3秒でフェード消灯します。
フェード消灯機能が働いている途中（約3秒間）に、再度「消灯」ボタンが連続して押された場合、消灯できなくなる場合があります。この場合は、リモコン送信器の「全光」ボタンもしくは「常夜灯」ボタンを押してから、再度「消灯ボタン」を押してください。
●明るさを下げていくと、ランプにシマ模様が連続して発生する場合がありますが、ランプ寿命や器具に影響はありません。
●明るさを下げていくと、最後は内側のランプのみ点灯するようになります。また消灯状態から明るさ▲を押して点灯させると最初は内側のランプのみ点灯し、明るさを上げていくと2本点灯するようになります。
●周囲の温度が高くなると、照明器具保護のため明るさを自動的に下げます。

故障かな?と思ったら。

現　象	考えられる原因	処　置	
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。	
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。	
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。	
	蛍光ランプが切れている。	蛍光ランプを交換してください。	
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。	
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池ふたを開けて、先の細いものでリセットボタンを押してください。（右図参照）	
予約時刻になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。	
	時刻が合ってない。	時刻を合わせてください。	
	照明器具に信号が届いていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。	
かんたん切タイマー、かんたん入タイマーが設定できない。	ゆっくりやすみタイマーが設定されている。	ゆっくりやすみタイマーを解除してください。	
ゆっくりおやすみタイマーで消灯しても常夜灯が点灯する。	CH2でゆっくりおやすみタイマーが操作されている。	リモコンと本体のチャンネルをCH1に切替えて操作してください。	
ランプが内側の1本しか点灯しない。	調光レベルが下限または下限に近くなっている。	調光レベルが下限に近くなると内側のランプのみ点灯します。 故障ではありません。	
ランプが5秒間隔で 全光→調光約1%→全光→ を繰り返す。	工場検査モード（デモモード）になってしまっている。	リモコンのチャンネル2の状態で、 《入タイマー》《全光》《常夜灯》の3ボタンを同時に3秒間長押ししてください。器具本体が'ピーッ'と鳴って通常動作になります。	

(0031956)B

ランプ寿命について

●一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し、常夜灯が点灯します。残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかに、すべてのランプを交換してください。

お手入れについて

●常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
●器具の汚れ（ホコリや虫など）は・・・
•和紙や布などの材質を使用した枠は、やわらかいハケでかるく掃除してください。
•セードや本体は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼったもので ふきとってください。
●器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。

ご注意 ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破壊の原因となります。

⚠注意	ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

東芝照明器具保証書

形名			
★お客様	お名前	ふりがな 様	
	ご住所		
	電話	市外 ・・・ 市内 ・・・ 番号 ・・・・	呼
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日 年 月 日から
★ご販売店	住所・店名 電話		

東芝ライテック株式会社 住空間事業部

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 電話（046）862-2103

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

個人情報の取扱いについて

1. 本書にご記入いただいた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
2. 修理のために、当社から修理を委託している保守会社などに必要なお客様の情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を遵守させますので、ご了承ください。

（右記をご覧ください）

保証について

・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または東芝ライテック照明ご相談センター にお問い合わせください。
その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（1）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（2）お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（4）車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
（5）施工上の不備に起因する故障や不具合
（6）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（7）日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
・補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。（セード・グローブなどは含まれません。）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター
フリーダイヤル **0120-66-1048**
受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・PHSなど 046-861-6485（通話料：有料）
FAX 0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞

■お客様メモ

購入年月日　　年　　月　　日

(0031956)B

＜生産完了 2010年12月03日＞

FVH16700TRUEL (15 / 16)

東芝ライテック株式会社 住空間事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 電話(046)862-2103
FAX(046)861-8776

(0031956)B